

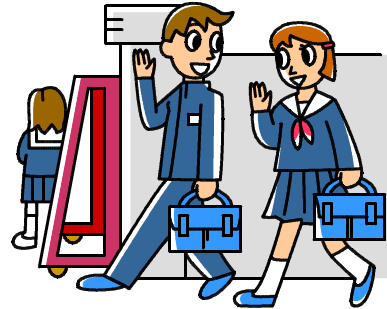
## 第25号

# 一歩前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

## いじめ ダメ ゼツタイ

生徒玄関前を通ると各学級のいじめ防止に向けた言葉が掲示してあります。「いじめるな相手の気持ちを考えよう」、「その言葉チクチクことばじゃないのかな？」等です。どの学級のプレートも誰もが楽しい学級、学年、学校にしたいという気持ちが伝わってきました。



いじめ問題は些細なことが原因で大きく発展し、取り返しのつかないことになった例がこれまでもたくさんあります。

人は一人ひとり違うということを前提にルールやマナーを踏まえて対応してほしいと思います。また、小学校の時はなんとなく気にしていなかったことも、年齢を重ねていけば、また違った感じにもなります。例として、ニックネームやあだ名でも気になる人は気になるのです。ましてや不愉快な言葉はとても残念です。特に短い言葉、単語だけのような言葉で簡単に「アホ」「バカ」など発する人がいますが、相手がどう受け止めるかを考えておかなければなりません。私は、このような言葉や類する言葉を使う側が人として恥ずかしいということを自覚してほしいと考えます。

さらに、最近気になるのは子供達のスマホの所持率です。ある調査では、中学校2年生で8割を超えるというデータもあります。スマホを所持するということは、ある意味、責任をとるということです。フィルタリングをかけている家庭もあるかと思いますが、管理や扱い方には十分気を付けてください。いじめ問題で話すと、特にSNSでの誹謗中傷に係るネットいじめがあげられます。一回発信してしまえば、あらゆるところに広がるということを自覚し、責任のとれることなのかよく考え、根拠がないことを安易に投稿してはいけないことを再度確認してください。正しく、効果的な使い方をお願いします。みんながいじめを「しない、させない、許さない」共に笑顔になれる志布志中を創り上げていきましょう。